

椅子研究会 第4回 講演会

開催日時 2009年12月5日(土)13時～18時

会場 長野県工業技術総合センター環境・情報技術部門大会議室

「椅子のデザイン／私の手法」

「工房家具のこれからを考える」

講師 高橋 三太郎(たかはし さんたろう) (北海道札幌市在住、木工家・デザイナー)

谷 進一郎(たに しんいちろう) (小諸市在住、木工家)

参加者数 48名

(報告者)横澤孝明

第4回の講演会は高橋三太郎氏をお迎えし、前半を工房家具の椅子を考える「椅子のデザイン／私の手法」と題して、イメージから完成までのお話を そして後半は、木工家 谷進一郎氏を交え、工房家具の第一世代のお二人が、「工房家具のこれからを考える」と題して、これまでの30年の間に確立されて来た「工房家具」のこれからを考察していただきました。

自らは、デザイナーではなく木工家で在りたいとおっしゃられる高橋氏。

気になる椅子は、実測、そして図面化し、自分なりに消化し、ブラシアップ。

工房設立当初から、何かしながらでも思いついたらスケッチの「ながらスケッチ」がベースだそうです。

名作の影には、再考・多数の試作、「とにかく作る」とのこと。

「手づくりだから」が通用しない現在、やはり大切な事は、その人の生活の中から生まれてくる形、つまりは、オリジナリティー。

自分の生活の中で、何に幸せを感じるかにより生活を組み立てる。

独自性のみを求め自分らしさを探すのではなく、継続の中から本人らしさが出る。

参加者からは、「ビジネス上手である事」、「自分をプロデュースする事」の必要性などの意見も挙げられました。

デザイン・手法では、画像も交えての説明も含め、興味深いお話を聞くことが出来ました。

終了後、参加者による懇親会も開催されました。

第4回 講演会



高橋三太郎氏



谷進一郎氏